

Car Painting 車体塗装

車の受けた損傷を修復し、損傷前の状態に復元する塗装技能

1900年代初期まで、車体塗装には油性塗料を使用していたため乾くのに時間がかかり、大量生産ができませんでした。しかし1923年に硝化綿ラッカーという速乾性に優れた塗料が開発されたことにより、自動車塗装が急速に向上。それまで黒一色だったところに、さまざまな種類や色の塗料が増え、スプレーガンなど周辺機器の開発も進みました。現在「車体塗装」は自動車の錆を防ぎ、美しさを保つ技能に。競技では、車の損傷を正確に早く修復し、損傷前の状態に復元する技能と、装飾塗装に挑みます。

競技について 競技時間：2日／8時間20分

車体塗装職種の課題は8課題あり、選手は鍛えぬいた技術・技能で挑みます。

競技課題	内容
装飾塗装Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	競技当日に公表される作業指示書のとおり各図柄と各寸法を確認し競技2日間での作業計画を立てて仕上げます
鋼板部品の修正とブロック塗装Ⅰ・Ⅱ	鋼板部品の損傷部を形状修正し支給された塗料を使用してブロック塗装で仕上げます
3コートパール調色と2コートメタリック調色	原色塗料(4原色～7原色)から課題塗板と同じ色になるよう色合わせします
鋼板部品のブロックぼかし塗装	フロントドアパネルが部品交換となった想定でリアドアパネルに色違いが判らぬよう綺麗なぼかし塗装で仕上げます ※競技会場には、フロントドアとリアドアに見立てた2枚の見本展示パネルが用意してあります
実車マスキング	吹付塗装を行うため、塗装対象パネル以外のパネルを含め車両全体にマスキング(養生)を行います
キズのみがき除去	鋼板部品に付いたキズをみがき作業により仕上げます

競技職種と生活との関わり

日本の自動車の保有台数は、8,245万台(2023年3月：(一財)自動車検査登録情報協会)となり、人々の生活や産業の輸送手段として、なくてはならないものとなっています。使用目的や種類により材料やデザインが大きく異なる自動車。交通事故やちょっとした不注意など、さまざまな原因でボデーに思わぬへこみやキズを付けてしまう事故が起っています。車体塗装職種の技能は、このような事故などにより損傷を受けた自動車を、事故前の状態に美しく正確に修復する技能です。

前回大会金メダリストからメッセージ!



星野 悠音さん
トヨタ自動車(株)

訓練は辛いこと、苦しいことが多くあると思います。それを乗り越えた先に・・・
～Beautifully High Quality～ みんなで目指そう金メダル!

ダブルアクション
サンダー



2022年大会
競技風景



<実車マスキング>

マスキングペーパー&
マスキングテープ

スプレーガン



損傷の修復や色合せ、塗装など 細かな作業を美しく正確に!

「鋼板部品の修正とブロック塗装Ⅰ・Ⅱ」の課題では、鋼板部品の損傷部を形状修正しベースコートとクリアコートで損傷前の状態に復元する技能が必要となります。「3コートパール調色」は、ベースコートの色合せとパールベースの塗り重ねによる2層の重なった合成色で色合わせを行う技能。「実車マスキング」の課題では、塗装を施すパネル以外の隣接パネルを含む車両全体のマスキング(養生)技能がポイントに。「装飾塗装」では、大会当日に公開される課題に対し瞬時に作業計画を立て、繊細なマスキング作業を早く・正確に行い美観の優れた塗装の仕上がりが求められます。

石川 順一 主査
株式会社湘南建築センター

